

＜指導計画例＞

3歳児 IV期

指導計画 11月～12月

○〇幼稚園

<p>期のねらい</p>	<p>気の合う友達と一緒に過ごし、好きな遊びを楽しむ。</p>	<p>主な指導の場と取り組み</p>		
<p>主な幼児の様相</p>	<p>・見たもの、聞いたこと、思ったこと、考えたことを言葉や手振りで表現し、聞いてもらえることを喜ぶ姿が見られる。 ・楽しそうにしている友達の近づいてみたり、自分もまねをしてみたりする姿が見られる。 ・相手のことが気になり、友達のことを心配したりかばったりするようになる。</p>	<p>11月の主な行事</p>	<p>12月の主な行事</p>	<p>家庭との連携・保護者への働きかけ</p>
<p>指導の視点</p>	<p>育てたい幼児の姿（指導内容）</p>	<p>なかよし遊び（全園児参加の自由遊び）</p>		
<p>心身の健康</p>	<p>・簡単な鬼ごっこ等、友達と同じ活動に参加し、体を動かして遊ぶ。 ・給食の前には、自分から進んで手洗いうがいができる。 ・園外に出たときは、道路の端を歩き、友達や教師と一緒に交通安全に気を付けて行動しようとする。</p>	<p>なかよし遊び（全園児参加の自由遊び）</p> <p>＜運動遊び＞ ○「鬼ごっこ」「かけっこ競争」「転がしドッジ」「固定遊具遊び」等 ・一人一人が逃げることを楽しさを十分味わえるようにする。 ・繰り返し遊ぶ中で、ルールがあることに気付かせる。 *事故が起きないように安全点検しておく。</p> <p>＜ごっこ遊び＞ ○「～まんごっこ」「お店やさんごっこ」「料理ごっこ」等 ・役になりきっている子を見守り、教師も一緒に参加する。 ・年中、年長児のお店やさんに、一緒に買い物に行ったり、お店やさんに入れてもらったりして、無理なく参加できるようにする。 *いろいろな役になりきって遊べるようマント等、小道具を準備する。 *自然の物を準備し、活用の仕方を示す。</p> <p>＜つくり遊び＞ ○「木の実ペンダント」「ケーキ」「ネックレス」「木工遊び」等 ・自然のものにはいろいろなものがあることを紹介して興味を持たせ、並べたり、重ねたり、貼り付けたりして一緒につくる。 ・自分が使った道具を洗って片付けることや掘った穴等、使った場所を元に戻しておくよう一緒に片付ける。 *片付ける場所を絵等で示し、片付ける場所と手順を定着させる。</p> <p>＜砂場・水遊び＞ ○「山づくり」「川づくり」「ダムづくり」等 ・手や道具を使って、夢中になって楽しむ行為を認め、一緒になって遊ぶ。特に、見立てや感動にしたことに共感するよう心がける。 ・服が濡れた程度や気温を考え、体が冷えすぎないように配慮し、場合によっては着替えるよう働きかける。 *着替えを用意させておく。スコップ・バケツ等、足洗い場の準備。</p>		
<p>人とかかわり</p>	<p>・自分のしたい遊びが見つかり、必要な道具を用意し、気の合う友達と一緒に同じ遊びを楽しむ。 ・泣いたりけんかしたりしたときの友達の様子を詳しく話そうとする。</p>	<p>＜ゲーム遊び＞ ○「あーぶくたった」 ○「まる・さんかく・しかく」 ○「しっぽとり鬼ごっこ」 ・「あーぶくたった～」「いれて」「いいよ」等遊ぶために必要な言葉が話せる。 ・簡単な合図やルールに従って遊びを楽しむことができる。なるべく幼児の意見を取り入れる。 *ゲームができるような簡単な線を引く。また、ゲームに使うしっぽ等、簡単な小道具を準備する。</p>		
<p>環境とかかわり</p>	<p>・木の葉、木の実等を集め、それを使っていろいろな遊びをする。 ・比較のおとなしいうさぎ等、身近な動物に関心をもち、いろいろな角度から観察したり、触れたりすることができる。</p>	<p>＜表現遊び＞ ○「いっばいとれたよ」芋掘りの絵 ○「何ができるかな」木の葉・実でつくる ○「べったんべったん」版をつくって押す ・体験したときの写真や感想の交流を通して、自分が一番印象に残ったことを中心に絵に描かせる。 ・木の葉や野菜等、季節を感じるものや自然のものを使って表現遊びの楽しさを味わわせる。 *イメージを膨らます写真。材料や手ふきを準備。</p>		
<p>言葉の獲得</p>	<p>・自分のしたいことや気持ち、困っていること、して欲しいことを言葉に置き換え、自分なりに思いを教師に伝えようとする。 ・教師や友達等、話す人の方を向いて話を聞こうとする。</p>	<p>＜飼育・栽培活動＞ ○芋の収穫、焼き芋祭（全園合同） ○お餅つき（全園合同） ・秋からお正月にかけての自然の変化、昔からの習わしや行事について話をし、行事に向かうめあてをもたせる。 *地域の方や他の園との連絡。持ち物の確認等。</p>		
<p>感性と表現</p>	<p>・身近な素材で好きなものをつくることができる。また、それを使って遊ぶことを楽しむ。 ・歌やリズムに合わせ、動物や列車等になって遊んだり体を動かしたりしようとする。</p>	<p>＜朝の会・帰りの会・当番活動＞ ・当番さんの呼びかけに合わせて呼応し、お休み調べや片付け、着席ができるように援助する。 ・園図書の借り方を説明し、みんなで借りに行く。</p>		
<p>安全指導</p>	<p>・園外に出かけるときのマナーや危険なことを聞きみんなで出かける時の並び方・道路での歩き方が分かり、練習する。 ・なかよし遊びの中で、遊具での危険な行為や他の人に迷惑をかける危ない遊びを行っている友達の話を聞き、みんなで約束したことを守ろうとする。</p>	<p>＜給食活動＞ ・どんなものも少しは食べ、頑張って食べている幼児を認め偏食が少なくなるように話しをする。</p>		
		<p>なかよし集会の内容（毎週月曜日の全園活動）</p>		
		<p>1, 集合・整列 2, あいさつ 3, 仲間の遊びの紹介 4, 歌「輪になって踊ろう」ペアーおどり 5, 先生のお話</p>	<p>＜11月の話題・指導＞ ・道を歩くときには ・薄着で頑張ろう ・うさぎのはなし ・園庭でのお約束</p>	<p>＜12月の話題・指導＞ ・頑張るお友達の紹介 ・ハンカチ、鼻紙をポケットに ・お星様のはなし ・お正月の遊び</p>

	3 歳	4 歳	5 歳			
週の願い	○気の合う友達と、いろいろな遊びを楽しむ。 ○秋の自然に触れ、親しむ。	○自分の思いを出しながら、友達とかかわって遊ぶことを楽しむ ○身近な秋の自然に触れて楽しむ。	○友達と相談したりイメージを出し合ったりして遊びを進めていく楽しさを味わう。 ○秋の自然に目を向け、遊びに取り入れる。			
幼児の姿	・好んで「入れて」「いいよ」を使い、遊びに入るためのルールが身に付いてきた。ままごとコーナーや砂場では、道具を共有したり、3～4人で役を決めたりして、ごっこ遊びが始めるなど、遊びを自分たちで進めていくことができるようになってきた。 ・ものの見立てが豊かになり、廃材や紙で作品をつくったり描いたり、木の実や木の葉等、いろいろな素材を使ってつくり遊びを楽しむようになってきた。 ・簡単なルールのあるゲームやうた遊び等で、友達同士追いかけることや触れ合うことを楽しんでいる。	・友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ中で、自分たちのイメージに近づけようと廃材で必要なものをつくり、遊びの中に取り入れている。 ・気の合った友達とゲーム遊びをする中で、互いの意見を主張し合ったり、相手の意見を聞こうとしたりする姿が見られるようになってきた。 ・ドングリや木の実の落ち葉等をままごとに取り入れたり、おもちゃのアクセサリーをつくったりして遊んでいる。	・木の実・種・廃材等、いろいろな素材を使ってアクセサリーやおもちゃをつくり、つくったもので遊びをしたりする姿が見られるようになってきた。 ・道具を使った「探検ごっこ」が始まった。遊びに必要なものをつくったり、段ボール等を組み合わせたり道をつくったり、相談しながら遊びを進める姿が見られるようになってきた。 ・鬼ごっこや蛇じゃんけん、ボール遊び等、ルールのある遊びを楽しんでいる。			
援助のポイント	○ごっこ遊びでは、幼児達のイメージを大切にしながら、遊びに必要なものを教師が仲立ちとなってつくったり、共通のイメージで遊ぶことができるように言葉をかけたりする。 ○表現遊びでは、幼児の見立てやつもりの世界がより広がるように豊富な素材を準備し、遊び方や作品を紹介してまわりの幼児にも広げていく。 ○トラブルが起きた場合は、遊びを止めて、幼児が自分の気持ちを言葉で伝えられるよう援助する。	○つくり遊びでは、廃材の見立てや工夫したところを認め、まわりの幼児に刺激となるように伝えていく。 ○自然物を使ったつくり遊びでは、作品に込められた一人一人のイメージを大切にしながら受け止め、よさを認めながら、まわりの幼児にも伝えていく。 ○幼児同士のトラブルの際には、両方の幼児の思いを受け止め相手の気持ちを受け入れたり、誘ったり、思いやることができるように言葉をかけていく。	○「探検ごっこ」では、幼児たちが相談することを促し、イメージをはっきりさせ、言葉に置き換えて代弁するなど、みんながイメージを共有できるようにする。 ○遊びの紹介を行い、いろいろなごっこ遊びを幼児たちに広げていく。 ○「つくり遊び」では、それぞれ幼児が工夫したところを認め作品を大切に展示するなどして広めていく。 ○好きな遊びを見つけられない幼児や友達とのかかわりが少ない幼児には教師と一緒に遊び、友達との橋渡しをする。			
予想される活動	<p>&lt;運動遊び&gt; ○「鬼ごっこ」「丸・三角・四角」「ドッチボール」「へびじゃんけん」「固定遊具遊び」等 ・気の合う友だちと、園庭に線をひいて遊び場所をつくって遊ぶ。</p> <p>&lt;ごっこ遊び&gt; ○「～マンごっこ」「お店やさんごっこ」「料理ごっこ」「探検ごっこ」等 ・2～3人の好きな友達と一緒に、アニメの主人公等なって遊ぶ。 ・砂や色水をつくって料理ごっこをしたり、つくったものを並べてお店やさんをごっこをしたりする</p> <p>&lt;つくり遊び&gt; ○「木の実ペンダント」「ケーキ」「ネックレス」「木工遊び」等 ・木の実やボタン等、自然のものを並べたり、重ねたり、貼り付けたりしてつくる。</p> <p>&lt;砂場・水遊び&gt; ○「山づくり」「川づくり」「ダム造り」等 ・手やスコップ等、道具を使って、山や川等見立てながらつくる。</p> <p>&lt;遊具遊び・動物との触れ合い&gt; ○「ブランコ」「うんてい」「三輪車」「ウサギのだっこ」等 ・気の合う友だちと遊具を使って遊んだり、小動物と触れ合ったりして遊ぶ。</p>		<p>環境構成のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 幼児の遊びのイメージや遊びが広がるような素材を用意しておく。(雨桶、木切れ、木の実、種、ボタン、マカロニ、廃材等)</li> <li>* 見通しややり方が分かるような掲示や友だちの作品等、準備して飾っておく。</li> <li>* 素材や用具は、自分たちで出し入れしやすいように分類したり、置き方を工夫したりする。</li> <li>* 片付ける場所を絵等で示し、片付ける場所と手順を定着させる。</li> <li>* いろいろな役になりきって遊べるようマント、ボンボン、ラジカセ等、小道具を準備する。</li> <li>* お店の雰囲気を出せるような屋根がついた大きな箱やテーブルや椅子になるものを準備しておく。</li> <li>* 遊びが発展していくように一緒に活動するとともに、幼児の発想を生かしながら環境を再構成していく。</li> <li>* 着替えを用意させておく。スコップ・バケツ等、足洗い場の準備をする。</li> <li>* 事故が起きないよう運動用具・遊具等、安全点検をしておく。</li> </ul>			
週の子定	3日(月) 文化の日	4日(火) なかよし集会	5日(水) 絵本の返却	6日(木) 絵本の貸出	7日(金) 祖父母参観	家庭との連携
<p>・運動遊びが活発になり疲れることも多いので、家庭でも十分休息をとってもらいようお願いする。 ・幼児の遊びの様子を伝えるとともに、つくり遊びに使えそうな材料(自然物や廃材等)をとっておいでいただくようお願いする。</p>						

<指導事例> 3歳〇組指導案

Ⅳ期11月第1週 〇〇幼稚園

平成〇〇年11月4日(火)		3歳児 〇組 男子6名 女子12名 合計18名		担任 〇〇 〇〇	
今週のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇気の合う友達と、いろいろな遊びを楽しむ。</li> <li>〇秋の自然に触れ、親しむ。</li> </ul> <p>&lt;関連する主な行事・活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよし集会(全園活動)</li> <li>・何かができるかな(表現遊び)</li> <li>・祖父母参観</li> </ul>	担任の願い	<p>学級の目標「友達の気持ちを受け止めるころをもち、友達と仲良く遊び、精一杯活動する子」</p> <p>なかよし遊び：興味ある遊びを夢中になって取り組み、仲のよい友達と一緒に楽しさを味わうことができる。</p> <p>自然に親しみ、自然や道具を使って楽しく遊ぶことができる。</p> <p>学級活動：友達や教師と一緒に楽しく遊んだり、活動したりすることができる。</p> <p>困っている友達がいたら教師に知らせるなど、助けようとする。</p> <p>生活習慣：友達や教師に対して、元氣よくあいさつができる。</p> <p>自分の物と他人の物との区別ができ、みんなで決めた約束を守るようとする。</p>	指導と援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ごっこ遊びでは、幼児達のイメージを大切にしながら、遊びに必要なものを教師が仲立ちとなってつくったり、共通のイメージで遊ぶことができるように言葉をかけたりする。</li> <li>〇つくり遊びでは、幼児の見立てやつもりの世界がより広がるように豊富な素材を準備し、遊び方や作品を紹介してまわりの幼児にも広げていく。</li> <li>〇トラブルが起きた場合は、遊びを止めて、幼児が自分の気持ちを言葉で伝えられるよう代弁などしながら援助する。</li> </ul>
	環境構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>*幼児の遊びのイメージや遊びが広がるような素材を分類して用意しておく。(雨樋、木切れ、木の実、種、ボタン、マカロニ、魔材等)</li> <li>*見通しややり方が分かるような掲示や友達の作品等、準備して飾っておく。</li> <li>*遊びが発展していくように一緒に活動するとともに、幼児の発想を生かしながら環境を再構成していく。</li> <li>*着替えを用意しておく。スコップ・バケツ等、足洗い場の準備をする。</li> </ul>		
1日の流れと指導			「芋版画あそび」学級活動の内容と援助・環境構成案		
時間	主な活動	主な教師の援助	時間	主な活動	主な教師の指導・援助
8:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇順次登園</li> <li>〇なかよし遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で迎え、一人一人の視診を行い体調等を把握する。</li> <li>・A男とB女と中心に遊び、一人一人の発想やよさを認める。</li> </ul>	10:25	〇うた「げんこつ山のためきさん」	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇身体を使って楽しく歌う姿や、大きな声で歌う姿を認め、素晴らしいお友達にためきさんも喜んでいることを話す。</li> </ul>
9:40	〇片付け・移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで片付ける幼児を認め、感謝の言葉をかける。</li> </ul>	10:30	〇今日の遊びについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇どんぐり山等、秋になるとなる実やできるものを発表させる。先日の秋の行事「芋掘り」を思い出させ、秋の自然がくれた芋を使って遊ぶことを話す。</li> </ul>
9:50	〇なかよし集会(全園活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並ぶ、聞くなどが意識してできるようよい姿の幼児を認める。</li> </ul>	10:35	〇準備ができたならやり方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇教師作品を見せ、どこから押したのか話しながら、どんな遊びをするのか、どんな風に遊ぶのか、内容・やり方、見通しが持てるよう</li> </ul>
10:05	〇移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄を済ませ、手洗い、うがいが自分からできるようよい姿の幼児を認め、できたかどうか確認する。</li> </ul>	10:45	〇各自がいろいろな色や版を使ってスタンプングを楽しむ。1枚目。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞紙をひいて、タオルを準備する。</li> <li>・絵の具の付け方</li> <li>・押し方(おまじない)</li> <li>・頑張ること</li> </ul>
10:15	〇朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がそろっているか確認し、当番を援助しながら進める。</li> </ul>	11:00	〇各自がいろいろな色や版を使ってスタンプングを楽しむ。2枚目。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装を確認し、新聞紙、タオルを準備させる。</li> <li>〇絵の具をしみこませたスポンジ皿や絵の具を準備し、絵の具の付け方、押し方(おまじないを言う)を説明しながら実演する。</li> </ul>
10:30	〇学級活動「芋版画あそび」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康調べの結果を園長先生の所に報告させ返事を発表させる。</li> </ul>	11:10	〇友達の作品を見て、楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇いろいろな色やいろいろな形の版を使って、たくさん押すことを頑張るように話す。</li> <li>〇幼児の1~2人指名をして、どんな風に頑張るのか話を聞く</li> <li>〇自分から取り組めない幼児は、一緒に押していく。</li> </ul>
11:20	〇給食準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがいを確認して着席させ、待つ姿を認める。</li> </ul>	11:20	〇片付けを始める	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇きれいに押ししているもの、色がきれいなもの、並べ方がよいもの、何かにみえるものを認め、並べ方や何かをイメージして押してみるよう促す。</li> </ul>
11:50	〇給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の食材や栄養について話しながら、残さず食べるよう促す。</li> </ul>	11:30	〇給食の準備を始める	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇大きな違うものを押して模様のようにしたもの、同じものを続けてへびにしたような教師の例を見せ、いろいろな押し方を工夫するように働きかける。</li> <li>〇版面をビー玉や型に押し当ててへこませ、版面に模様をつくり楽しむことを見せる。</li> </ul>
12:30	〇給食片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の片付け方を確認し、片付けたら帰りの準備をするように話す。</li> </ul>	13:10	〇帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇作品を見ながらつくった幼児の思いや感想を聞き、作品や発想、取組のよさをみんなで認め合う。</li> <li>〇作品や机を汚さず丁寧につくった幼児や、友達と仲良く協力して活動した幼児の姿を全体の場で認め、片付けに入る。</li> </ul>
13:00	〇お帰り準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りの準備ができたなら、どこでどのように待つのか確認する。</li> </ul>	13:30	〇降園	<ul style="list-style-type: none"> <li>*黒板に資料を掲示しながら説明</li> <li>*グルーブで活動させる</li> <li>*机上に赤、黄、青、緑等の絵の具</li> <li>*秋の食べ物の絵</li> <li>*芋、芋版</li> <li>*教師作品</li> <li>*絵の具、筆</li> <li>*スポンジに絵の具を染み込ませたスタンプも準備する。</li> <li>*教師もスタンプしながら大きさや形の違いに気が付かせる。</li> <li>*幼児の作品</li> <li>*教師の作品2</li> <li>・模様をつくったもの</li> <li>・へびのように続けて押したもの</li> <li>*版面を△型や☆型に押し付けてへこませた模様をつくった版を示す。</li> <li>*全員の作品を並べる位置を決めておく。</li> </ul>

# 保育指導案の書き方

本時の保育のねらいを実現するための意図的な環境構成や指導・援助について記述します。

例)「        な活動を仕組むことで、または        な環境構成を仕組むことによって、Aさんを~する姿にしたい。」「~な環境を設定することで、後かたづけを主体的に取り組めるような姿にしたい。」「~という環境を設定することでBさんとCさんがかかわりを持ち、学級全体が一つの集団としてなかよく遊ぶことができるようにする。」

環境を構成するにあたって、遊具や用具、素材などに物的環境についても具体的に記入します。

活動名から本時の内容が具体的にイメージできるようにします。

「活動」にどんな教育的な意味があるのか、また、環境設定が、幼児期の特性に照らし、いかにふさわしいものであるかを記入します。

## 学級指導案

指導者

歳児 ( 名 )

- 1 活動名
- 2 活動のねらい
- 3 幼児の実態
- 4 本時について

ねらいから見て、自分の学級の幼児たちがどんな実態なのか、記入します。

幼児の伸ばしたい面や、今、指導しなければならないことなどをとらえ、必然性のある活動の設定につなげます。

具体的でよく分かるように、幼児の姿で描きます。

たとえば.....

「ルールを理解し体を動かして集団で遊ぶ楽しさを味わう。」

には、二つの要素があります。

ルールを理解すること  
集団で遊ぶ楽しさを実感すること

学級の実態に合わせ、本時のねらいは、1つの要素にしぼり込むことが大切です。

例えば「鬼ごっこ遊びを通して、約束を守ると楽しいことに気付かせる。」といったねらいを設定することができます。

- 5 本時のねらい

活動の様子	教師の指導・留意点
・ 幼児の予想される活動	教師の具体的な指導・援助を記入します。

自分の働きかけや環境設定によって、一人一人がどのように活動するのか、具体的にイメージしながら記入します。あらゆる場合を思い描き、ねらいに基づいた環境の再構成まで具体的に考えることが大切です。

「教科書がない幼稚園では、環境構成が教科書である。」

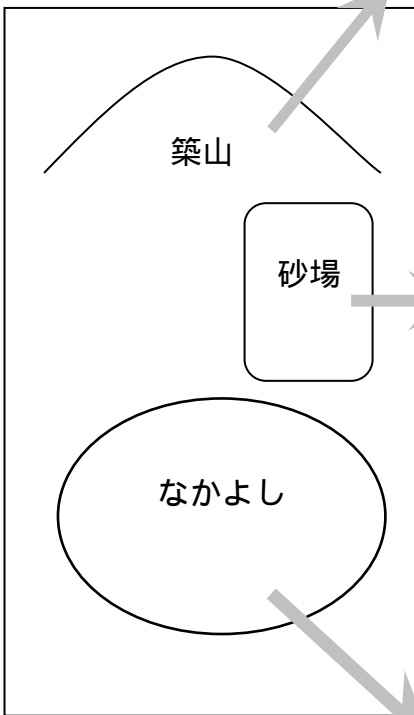
「様々な手段をポケットに入れておく。」

ねらいを実現するために活動を精選します。

保育指導案例 5歳児 組指導案（晴天の場合）

本時のねらい ・異学年との関わりを深める遊びを通して、相手の立場に立って考えることができる思いやりの心を育てる。  
 ・ルールのある遊びを通して、友達と一緒になかよく遊ぶ楽しさを味わう。

- 1 活動名 どかんじゃんけん(陣地取りじゃんけん鬼遊び)
- 2 活動のねらい  
 「どかんじゃんけん」の決まりを年少児に教えることを通して、自分が人の役に立つことの喜びを味わうことができる。
- 3 幼児の実態  
 学級ではリーダー的な存在であるA児、B児、C児であるが、3、4才児に対しては思いやりの言動に欠ける場面が多い。
- 4 本時について  
 年少児に「どかんじゃんけん」のきまりを教える機会や、築山から下るというコースを設定し、年長児が年少児と手をつないで一緒に走る機会を意図的に仕組む。このことにより異年齢児同士のかかわりを多くし、思いやりの心を育む。また、この遊びを通して育まれたA児、B児、C児のよさを、他の幼児にも伝え、思いやりの心をもって遊ぶ楽しさを価値付ける。



- 1 活動名 大きな大きな山をつくらう(砂場遊び)
- 2 活動のねらい  
 一人一人が役割をもち、力を合わせて山づくりを通して、友達と一緒に仲良く遊ぶ楽しさを味わう。
- 3 幼児の実態  
 D児、E児は一人で造形遊びに夢中で取り組むことや、集中して作業に向かうことは得意であるが、自分から友達に関わって遊ぶことや、自分の思いや感情を相手に伝えることを苦手としている。そのため、友達との間にトラブルが多い。また、何事に対しても消極的で指示されてから動くことが多い。
- 4 本時について  
 砂場で山を作る。グループはD児、E児をリーダーとする2班にするとともに、メンバー構成を意図的に年少児や年中児を多くし、彼らがリーダーとなることに必然性をもたせる。砂を固める方法を知っているD児のよさをグループに知らせることによって、D児に自信をもたせる。E児にもスコップを持たせ、教師がE児を頼る場面を作ったり、出番を多くしたりすることによって自信をもたせ意欲的な姿を作る。遊び終了の振り返りでは、D児、E児の活躍を認め、一緒に力を合わせてやり遂げるすばらしさを価値付ける。

- 1 活動名 ドロ・ケイ(鬼ごっこ遊び)
- 2 活動のねらい  
 ルールある遊びを通して、友達となかよく遊ぶことの楽しさを味わう。
- 3 園児の実態  
 常に中心になって遊びをリードしていくF児、G児、H児であるが、順番や約束を守ることができないことが多い。
- 4 本時について  
 年少園児に年長園児がルールを説明する機会を設定し、かかわりを多くもたせる。けんか等が生じたときには、F児、G児、H児中心に話し合わせ、より楽しく遊ぶためのルールをつくったり、作り変えたりする機会を設け、F児、G児、H児に約束を守っていこうとする大切さと、そうすることで遊びが一層楽しくなることに気付かせる。  
 遊びが終わったときに、遊びの振り返りを行い、F児、G児、H児の成長を認め、約束を守ることの大切さを価値付ける。

毎日の記録のいろいろな形式  
 (1) 日案と日の記録を兼ねた形式

組 担任

10 / 25 (水)		給食	主な活動(行事)	ねらい	1日を振り返って
天気		葉オちウ切 めムくイり しレわソ大 ツ天ナ根	なかよし給食	友達と思いを伝え、好きな遊びを楽しむ	今日は雨上がり。園庭の状態が悪いが外へ行きたいのが子どもたち。でも、思ったほど外へ行かず、昨日初めて出したスケッチブックでお絵かきや粘土遊び。そのうち、パクパク人形がほしいとの声に作ってあげると、私も私もの声。人数が多いからたいへん。でも、頑張ってくれてうれしい。
1	A 児	/	当番の仕事 テーブル拭 きや手洗い 順についてち っと声をかけ るとどんだん 進めた。 エプロンた たみも上手に できた。	<b>三輪車で競争</b> 午後片づけた後。 合わせてバスごっこの後に、昨日の ように、椅子を積み上げた男の子。 「もうりす組さんには貸してあげられ ないとおじさんから電話があったら 片付けちゃった。」 ↓ <b>椅子は座るものであるけど、投げたり、積んだりするものではない。</b> 「投げて、頭や身体に当たったり すると、けがをして血が出 てたいへんです。」 ↓ どの子も真剣に聞いていた。	<b>1日を振り返って</b> G児が乗っていた三輪車 Tも同じものを見つけ乗って2人 で競争した。 砂場 ゆうぎ室前 鳥小屋 砂場 Tも必死になって追いかけた ↓ 次は〇児と さすがに2回目は足が疲れていた。 B児とC児が後ろから押してくれる。 「あ～あ、B君に負けちゃった。」 せっかくみんな押してくれたのに
2	B 児	/			
3	C 児	/			
4		/			
5		/			運動会ごっこではなく、こうした遊びを久しぶりにたくさんできたと感じた。 運動会はいろいろたいへんであるが、子どもにとっては運動会の一部のことといわれたこと。もっともだと振り返る。
6		/	給食袋を振り回す		
7		/	危ないと教える		園長先生より 子どもがそばに来るのではなく、保育者が自分から関わろう。自分から外に出かけよう等することが大切です。
8		/	小さい子が給食をこぼしていないか見てあげてと話す。		
9		/	さっと見てくれるA児の姿を知らせる。		机      オルガン      廊下 手裏剣を作ってて・・・ J児「Kちゃんたち、ちっともいれてくれへん」 K児「いれて」「いいよ」 T「あっ。Kちゃん仲間に入ったよ。」 J児「いれて～！いれて～！」 L児やM児も加わって廊下遊び。
10		/	いつも以上に食欲無		
11		/	給食の片づけもずらりと並んで片づけること、上手になってきている。また、部屋へきたときも返るときもTに声をかけてくれる子が増えて、うれしいと感じた。 B児、C児の表情、言葉が...	<b>帰りの会</b> 「今日のニュース」 ・D児の持ってきてくれたインコの紹介(どこで飼っていたのか。) ↓ <b>煎に出て話してもらえ</b> ・いいこと見つけ (E児) F児 箒で頑張って掃除ができた ↓ 「まだ考えていない」ということでそのまま席に戻る。 ↓ <b>そこで</b> そのまま戻らせるのではなく、今日のE児の光っていた姿を代わりに紹介するという機転が利くとよかった。 やる気を見せてくれたのに、認める言葉をかけられなかったと反省。	<b>廊下のスペースで</b> 戸外よりも死角になる廊下。自分から遊びに入ってみる。きりん組のままごと道具とサークルブロックフル活用している。他ごとをしている子は一人もなく、今日のメンバーにと手は充実していた。
12		/			
13		/			
14		/			
15		/			
16		/			
17		/			
18		/			





( 4 ) その他の形式 その3

組		月	日	曜日	天候 ( )	欠席 ( )	担任	
番	男子名	< 活動の様子 >			番	女子名	< 一日の生活の姿 >	< 明日に向けて >
1	A 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な子どもの様子</li> <li>・ 遊び場所 等</li> </ul>			1		<div style="text-align: center;"> <p>登園</p> <hr style="width: 20px; margin: 0 auto;"/> <p>給食</p> <hr style="width: 20px; margin: 0 auto;"/> <p>降園</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予想される活動</li> <li>・ 環境構成のポイント</li> <li>・ 教師の援助 等</li> </ul>
2	B 児				2			
3	C 児				3			
4					4			
5					5			
6					6			
7					7			
8					8			
9					9			
10					10			
		< 心に残った子 >						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に気にかかった子の様子</li> <li>・ 教師のかかわり</li> </ul>						